

第Ⅴ章 活用計画

第1節 管理・運営計画

(1) 行政による管理・運営の体制

史跡の日常的な維持管理としては、遺構及び見学路の草刈り、丘陵部の間伐や枝打ち、倒木処理などがあげられる。また、アカマツが多く見られる和田山、末寺山では松食い虫被害を防止する樹幹注入やその他の丘陵部でもカシナガキムイの防除が必要である。

臨時的な維持管理としては、強風や大雨などの自然災害により発生した斜面崩落や倒木の処理等があげられる。このような災害が発生した場合、人命を第一とした安全管理に努めるとともに、遺構の早急な現状復旧を目指す。

また、ふるさと歴史の広場などの付随施設や現在のガイダンス施設である歴史民俗資料館についても、経常的な保守・管理が必要となる。

こうした維持管理の運営主体は、史跡の管理団体である能美市が行うものだが、文化財担当部局だけでなく、行政内部における体制強化が必要である。史跡の保存整備は法令上も多岐にわたる分野が必要であり、さらに、活用面においては、広報やホームページ等での情報発信、観光地としての周辺整備など他課との連携が欠かせない。横断的な体制を緊密にすることで、より効果的な史跡の維持管理、活用の体制が構築されるよう努める必要がある。

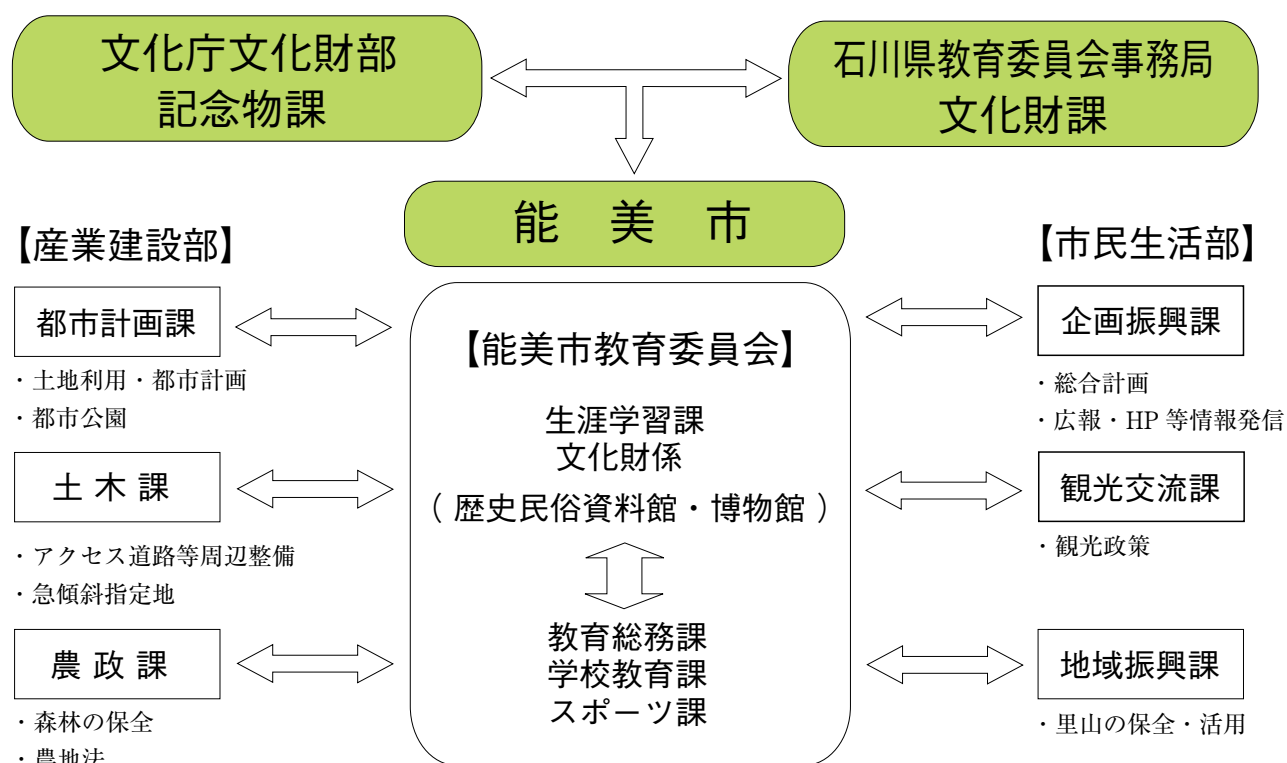


図 58 行政による管理・運営の体制

（２）市民との協力体制

現在、史跡公園の管理の一部を地元町会に委託している。また、和田山史跡公園・ふるさと歴史の広場では、毎年、地元老人会・壮年団・女性会がボランティアで清掃活動を行っている。このような日常管理に地元町会や市民団体が参加することは、史跡への愛着を深める活動として重要である。また、歴史学習やイベントの開催などの活用面において、古墳ボランティアをはじめとする各団体との連携は必要不可欠である。

史跡を後世へ保存継承していくためには、史跡の日常管理や活用において、こうした地域住民をはじめとした市民の参加、協力が重要である。行政側としては、こうした市民と行政の協働が円滑に進むよう、支援体制のあり方など仕組みづくりの工夫に努める必要がある。



図 59 市民との協力体制



秋常町との彼岸花植栽



寺井高校による古墳PR活動



古墳ボランティアのガイド勉強会



粟生小学校土器・埴輪作り教室

写真39 市民との協力事業

第2節 活用計画

(1) 日常的な活用

史跡能美古墳群は平野部の住宅地内に所在しており、身近な自然公園としても市民に親しまれている。朝晩の散歩やジョギング、子供たちの遊び場として利用されることも多い。能美古墳群の立地は史跡として恵まれた環境にあることから、日常生活のなかで史跡への理解と愛着を深めてもらえるよう、周遊コースの設定や案内板・説明板の設置を工夫していく必要がある。また、日常的な利用をさらに促進させるためにも、園内が明るく眺望が開けるように樹木の伐採を進め、園路の安全確保にも努める必要がある。また、5つの支群を繋ぐ散策コースの設定（図61）、健康運動（スマートウォーキング）とタイアップするなど日常的な利用法を提案していく。

(2) 歴史学習の活用

子供たちの歴史学習では、小学校6年生の古墳時代の授業に合わせて4・5月頃に多くの見学がある。能美市では史跡能美古墳群を歴史学習で学校に利用してもらうべく、古墳見学と古代体験を組み合わせた見学コースなどを紹介した「子ども古代アドベンチャー No-Misテリープラン」がある。毎年3月に県内の小中学校にパンフレットを配布し周知を図っている。古墳ボランティアによる古墳ガイドや古代体験指導の協力のもと利用者には好評を得ており、七尾市や金沢市、加賀市など市外からの利用もある。課題としては、市内小学校による利用が恒常化しておらず年度ごとにばらつきがあること、遠足を兼ねて利用するうえで九谷陶芸村や石川動物園との連携強化を図る必要がある点などがあげられる。



写真40 小学生の歴史学習（勾玉作り）

さらに今後は、西山古墳群の整備と新たなガイダンス施設（総合博物館）の設置に伴い、見学コースや体験内容の新たな提案が必要である。古墳見学、出土品見学、古代体験が一体的に出来るように、古墳を見て登って体感できる内容となるよう魅力的な学習プランを提供していきたい。

(3) イベント等の活用

現在、史跡の活用イベントとして最大のものは毎年9月に開催している「秋常山古墳まつり」である。地元の粟生小学校6年生による古墳儀礼の再現をはじめ、古墳ボランティアを中心とする古代体験コーナー、古墳のキャンドルライトアップや各種ステージなどが催され、多くの人々が史跡を知り、訪れる貴重な機会となっている。しかし、平成28年度まで5回開催しているがイベント内容のマンネリ化や集客数の減少など課題も出始めている。



写真41 秋常山古墳まつり

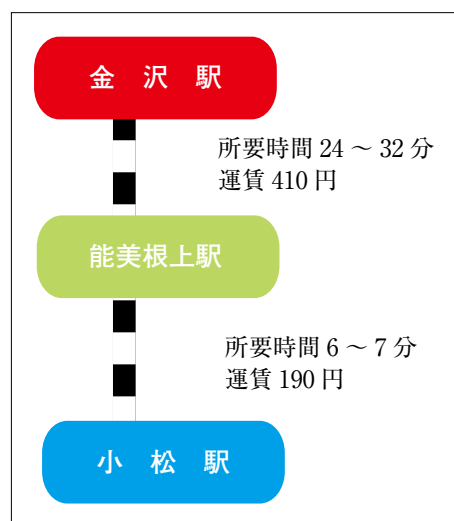
今後は、これまで最も新しく整備が完成した秋常山古墳群を会場に開催してきたが、史跡能美古墳群のイベントとして、会場の持ち回りや他支群を結びつけ

たイベントの開催、新ガイドンス施設を拠点とした企画など、新たな試みを加えながら末永く継続的に開催していく必要がある。そして、古墳まつりに多くの市民が参加できるように、企画段階から古墳ボランティアをはじめとする市内の各種団体と連携し、さまざまなアイデアを柔軟に取り入れながら実施していく工夫も必要である。

(4) 交通アクセス

多くの市民や小学校などの団体、県外からの観光客が来跡するにあたって、また、さまざまなイベントで多くの集客を呼び込むのにあたって、交通アクセスの利便性高上は欠かせない。最も利用が多い自動車については、高速道路 I C と主要道を結んだ誘導サインの設置（図62）や観光バスの受け入れも可能な大型駐車場の整備を進めていく。また、近年では北陸新幹線の開業により県外から電車・バスを利用した来跡者も増加傾向にある。今後の敦賀延伸も見据えて、電車・バスによるアクセス向上は重要である。特に、本史跡は電車駅から距離があるため便利なバスの設置が欠かせない。現在、電車駅を経由するバスの運行状況は下記のとおりであるが（図60）、市内にある能美根上駅を発着とする「のみバス」については史跡へ行く本数が少なく検討を要する。新たなガイドンス施設を拠点とした一体的な能美古墳群の活用のなかで、利便性が高いバスルートの設定を行っていく必要がある。

北鉄バス			金沢駅⇄松任⇄寺井史跡公園前			運賃:770円(金沢)480円(松任)		
路線番号:42			平日			土曜・日曜・祝日		
金沢駅発	松任	寺井史跡公園前着	金沢駅発	松任	寺井史跡公園前着	金沢駅発	松任	寺井史跡公園前着
6:53	7:29	7:51	7:20	7:54	8:16	7:20	7:54	8:16
7:45	8:29	8:50	8:20	8:57	9:19	8:20	8:57	9:19
8:45	9:24	9:46	9:20	9:57	10:19	9:20	9:57	10:19
10:00	10:39	11:01	10:20	10:59	11:21	10:20	10:59	11:21
11:20	11:59	12:21	11:20	11:59	12:21	11:20	11:59	12:21
12:40	13:19	13:41	12:20	12:59	13:21	12:20	12:59	13:21
14:00	14:39	15:01	14:20	14:59	15:21	14:20	14:59	15:21
15:00	15:39	16:01	15:20	15:59	16:21	15:20	15:59	16:21
15:45	16:29	16:51	16:20	16:59	17:21	16:20	16:59	17:21
16:45	17:29	17:51	17:20	17:59	18:21	17:20	17:59	18:21
17:45	18:29	18:51	18:20	18:59	19:21	18:20	18:59	19:21
18:45	19:27	19:49	19:20	19:58	20:20	19:20	19:58	20:20
19:45	20:21	20:43	20:20	20:58	21:18	20:20	20:58	21:18
20:50	21:26	21:48						
22:00	22:36	22:58						
1日15本 寺井史跡公園前まで所要時間約1時間			1日13本 寺井史跡公園前まで所要時間約1時間					
平日			土曜・日曜・祝日					
寺井史跡公園前発	松任	金沢駅着	寺井史跡公園前発	松任	金沢駅着			
6:12	6:33	7:21	6:49	7:10	7:41			
6:47	7:08	7:51	7:49	8:10	8:41			
7:07	7:28	8:17	8:49	9:10	9:51			
7:42	8:03	8:52	9:49	10:10	10:51			
8:19	8:40	9:29	10:49	11:10	11:51			
9:19	9:40	10:29	11:49	12:10	12:51			
10:19	10:40	11:29	12:49	13:10	13:55			
11:39	12:00	12:45	13:49	14:10	14:55			
12:59	13:20	14:05	14:49	15:10	15:51			
14:19	14:40	15:25	16:49	17:10	17:51			
15:39	16:00	16:45	17:49	18:10	18:45			
※ 16:31	※ 17:00	17:47	18:49	19:10	19:45			
★ 16:39	★ 17:00	17:47	19:49	20:10	20:45			
17:29	17:50	18:37						
18:24	18:45	19:32						
19:24	19:45	20:22						
20:09	20:30	21:07						
1日16本 寺井史跡公園前まで所要時間約1時間			1日13本 寺井史跡公園前まで所要時間約1時間					
小松バス			小松⇄寺井史跡公園			運賃:370円		
路線名:寺井			平日			路線名:小杉		
小松駅前発	寺井史跡公園	寺井史跡公園前	小松駅前発	寺井史跡公園	寺井史跡公園前	小松駅前発	寺井史跡公園	寺井史跡公園前
7:55	8:18	7:25	7:48	7:25	7:48	7:25	7:48	7:49
9:30	9:53	8:25	8:48	8:25	8:48	14:35	14:59	14:59
11:00	11:23	10:00	10:23	10:00	10:23	15:35	15:59	15:59
13:05	13:28	11:30	11:53	11:30	11:53			
16:20	16:43	13:35	13:58	13:35	13:58			
17:30	17:53	16:50	17:13	16:50	17:13			
18:50	19:13	18:00	18:23	18:00	18:23			
		19:20	19:43	19:20	19:43			
1日7本 所要時間23分			1日8本 所要時間23分			1日3本 所要時間24分		
のみバス			能美根上駅⇄寺井史跡公園前⇄秋常			運賃:100円		
平日			平日			平日		
能美根上駅発	寺井史跡公園前	秋常	能美根上駅発	寺井史跡公園前	秋常	能美根上駅発	寺井史跡公園前	秋常
8:37	8:47	8:49	10:12	10:15	10:33	10:12	10:15	10:33
11:58	12:08	12:10	14:29	14:32	14:50	14:29	14:32	14:50
15:00	15:10	15:12						
1日3本 寺井史跡公園前まで所要時間10分			1日2本 寺井史跡公園前まで所要時間18分					



電車



のみバス

図 60 交通アクセスの状況（平成 29 年 2 月 15 日時点）



図61 史跡能美古墳群散策コース案

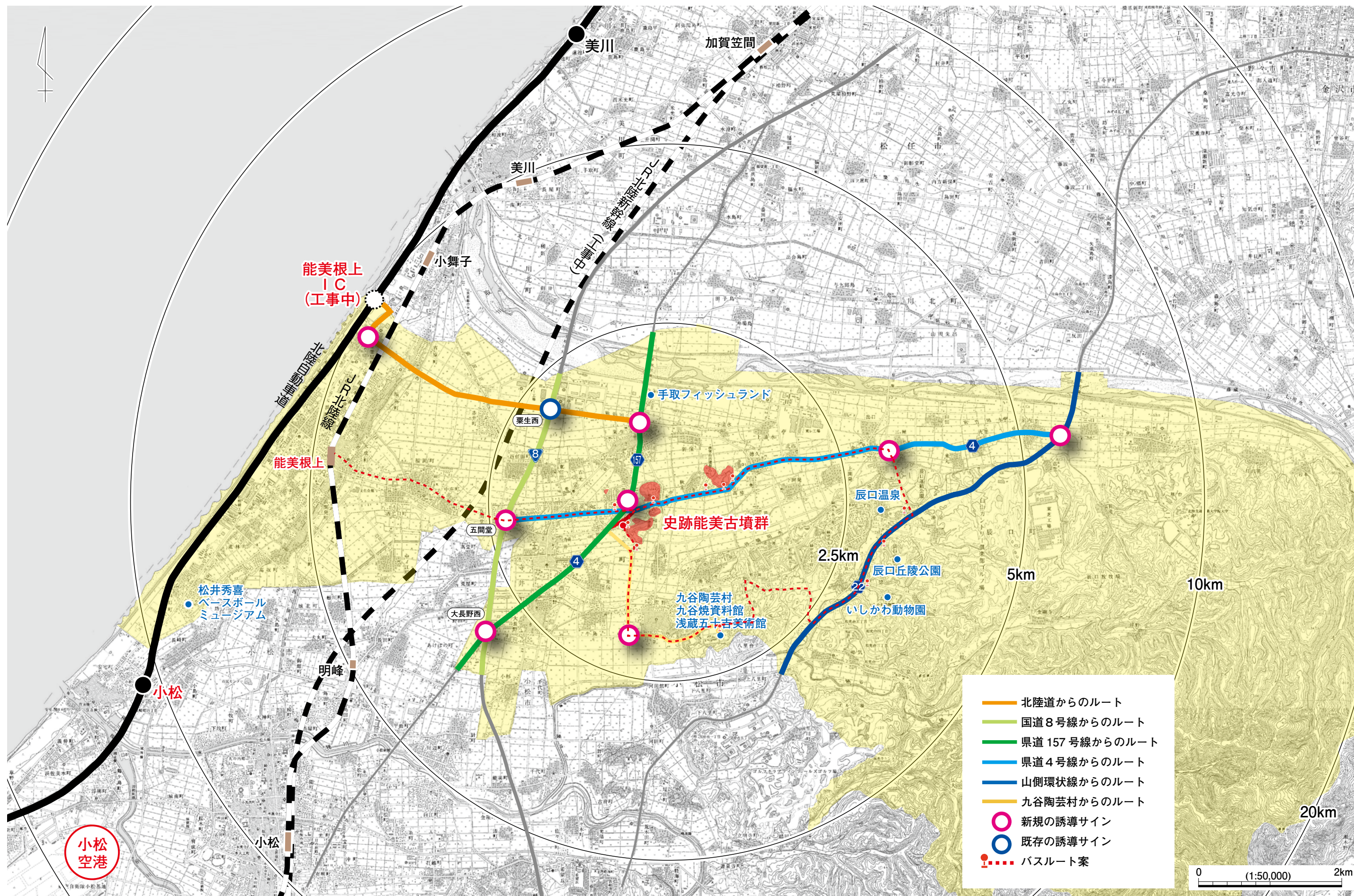


図 62 交通アクセス計画

※新博物館建設予定地の和田山を中心としたルートの想定。

(4) 情報発信・ガイド

史跡能美古墳群は北陸を代表する古墳群として全国的にも知名度は高く、県外からの見学者もある。また、県内の国史跡において古代遺跡としては広大な面積を有しており、その一方でコンパクトにまとまる各古墳を気軽に散策できる環境が整備されている。こうした点をPRし、さらに史跡の利用者を増加させるために情報発信は欠かせない。ホームページの作成など広く情報が発信できる環境を整え、史跡の魅力や活動の紹介をしていく必要がある。また、来園者がいつでも古墳の詳細情報を得ることができるよう、ホームページによる古墳解説の充実や音声ガイダンス、AR（拡張現実）による現地解説などの整備も進めていく必要がある。

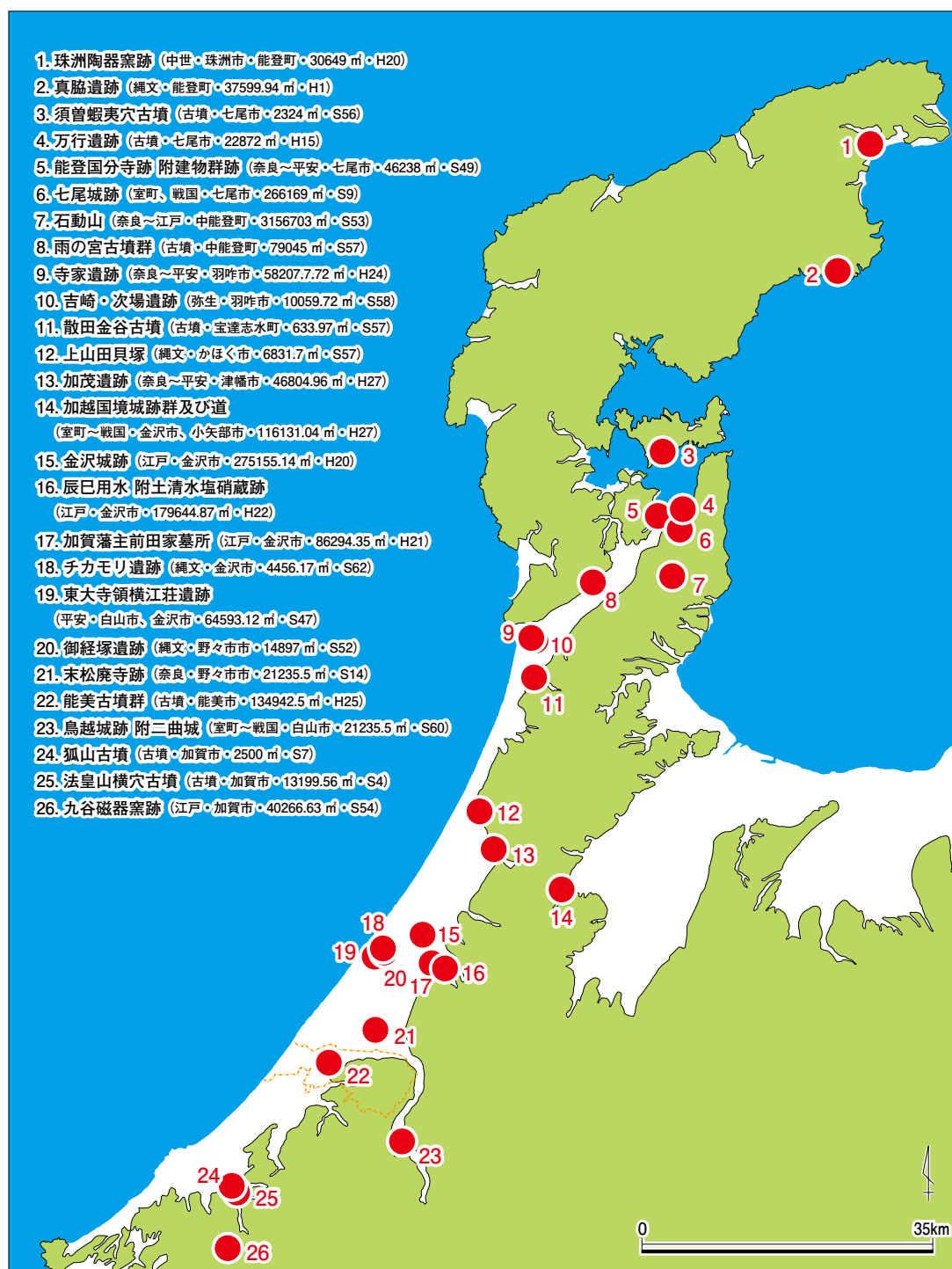


図 63 石川県内の国指定史跡

第3節 出土品の保存・活用計画

出土品の現状 史跡能美古墳群はこれまで28次にわたる発掘調査が行われており、32基の古墳から3,780点以上の遺物（破片含む）が出土している。これらの多くは能美市教育委員会が保管しているが、古い調査時の資料は京都国立博物館、石川県立歴史博物館、小松市立博物館に所蔵されているものもある。また、調査歴が長く、調査体制もさまざまであったことから、所在不明の資料も散見される。なお、出土品のうち、「和田山・末寺山古墳群出土品一括」と「西山古墳群出土品一括」が能美市指定文化財（考古資料）となっているが、これは昭和34年、43年に指定されたものであり、その後の調査による多くの出土品については追加指定等の措置はなされていない。

出土品の調査・保存・管理の方針 出土品は、史跡能美古墳群の価値を物語る重要な構成要素であり、過去に出土し、報告された資料においても最新の研究水準に照らし合わせた歴史的再評価を行うことで史跡の本質的価値がより明確になる可能性を有している。また、出土品のなかには日々劣化していく脆弱なものも含まれ、適切な保存管理がなされなければ史跡の本質的価値の損失にも繋がる。以上の点から、保存管理計画では、下記のとおり出土品の調査・保存・管理の方針を定め、今後の保存活用の推進を図ることとする。

- ①市外に所蔵されている出土品を含め、所在調査及び状態等の確認を行い、台帳の作成を行う。
- ②能美市所蔵資料については、状態によって保存処理等の適切な措置を行う。
- ③新たなガイダンス施設（総合博物館）の設置において、出土品の収蔵施設、保存環境（温湿度調整等）、防犯・防火・防災対策の設備を整え、適切な保存・管理体制を構築する。
- ④最新の研究水準に照らし合わせた出土品の調査研究、再整理事業を継続的にを行い、その歴史的、文化財的価値を明らかにするとともに、国重要文化財の指定を目指す。
- ⑤出土品の価値をガイダンス施設での常設展示若しくは特別展示、または図録、講演会等で公開し、積極的な活用を図る。



和田山5号墳



秋常山2号墳



和田山23号墳

写真42 能美古墳群出土品

引用・参考文献

石川県立埋蔵文化財センター1992『石川県遺跡地図』石川県教育委員会

伊藤雅文2008『古墳時代の王権と地域社会』学生社

2015「凝灰岩切石積横穴式石室の一例」『河上邦彦先生古希記念献呈論文集』

樫田 誠1999「北陸における古墳時代中・後期の様相」『渡来文化の受容と展開』埋蔵文化財研究会

河村好光1997「第Ⅲ部第1章第4節 棺・槨から室へ」『加賀 能美古墳群』石川県寺井町・寺井町教育委員会

「第Ⅲ部第1章第5節 能美古墳群の特徴と変遷」『加賀 能美古墳群』石川県寺井町・寺井町教育委員会

草野潤平2014「切石積の技術系譜－横穴式石室の石積み手法からみた関東地方の動向－」『駿台史学』第150号 駿台史学会

下出積興1959「古墳時代における地方の政治勢力（一）」『金沢大学法文学部論集』哲史篇第7巻

清家 章2002「折り曲げ鉄器の副葬とその意義」『待兼山論叢』第36号 史学篇 大阪大学大学院文学研究科

2011「破碎副葬と葬送祭祀」『古墳時代の考古学3 墳墓構造と葬送祭祀』同成社

高橋浩二2006「北陸の前方後方墳－柳田布尾山古墳の時期的評価をめぐって－」『石川考古学研究会々誌』第49号 石川考古学研究会

2009「北陸における弥生墓制」『中部の弥生時代研究』中部弥生時代研究会

2011「七 北陸」『講座 日本の考古学 古墳時代 上』青木書店

高堀勝喜・浜岡賢太郎・橋本澄夫・吉岡康暢 編1968『能美古墳群調査概要』石川考古学研究会編、寺井町教育委員会・辰口町教育委員会刊行

豊島直博2010『鉄製武器の流通と初期国家形成』奈良文化財研究所学報第83冊 奈良文化財研究所

能美市教育委員会2011『史跡秋常山古墳群－保存整備事業報告書－』

2011『西山古墳群－範囲内容確認調査報告書－』

2013『能美古墳群 総括編』

2015『史跡能美古墳群保存管理計画書』

能美市立博物館2008『能美市植物調査報告書』

2011『能美のこん虫観察』

2012『能美市ほにゅう類図鑑』

藤則雄2011「第2節 国指定史蹟『能美古墳群』の秋常山1号墳葺石の石質とその原産地」『史跡 秋常山古墳群』能美市教育委員会

古川登 ほか 2010「越地方における墳丘墓を中心とした弥生時代埋葬遺構関係実測図集成」『小羽山墳墓群の研究』研究編

福井市立郷土歴史博物館

文化庁文化財部記念物課2005『史跡等整備のてびき－保存と活用のために－』同成社

前田清彦1997「第2章第2節2 末寺山5号墳」「第2章第2節4 末寺山6号墳」「第2章第3節1 末寺山2号墳」

『加賀 能美古墳群』寺井町教育委員会

三浦俊明2004「第6章 古墳群の構成と変遷」『下開発茶白山古墳群Ⅱ』辰口町教育委員会

2006「加賀における古墳編年」『北陸の古墳編年の再検討』富山大学人文学部考古学研究室

御嶽貞義2011「コシの弥生墓制」『日本海側の弥生墓制』鯖江市教育委員会

望月精司2010「古墳時代後期の江沼を考える」『継体大王と江沼の豪族』まいぶん講座フォーラム報告3 小松市教育委員会

吉岡康暢 編1971『寺井山遺跡調査報告書』寺井町教育委員会

吉岡康暢1968「3 能美古墳群の提起する諸問題」高堀勝喜 他 編1968『能美古墳群調査概要』寺井町教育委員会・辰口町教育委員会

1971『寺井山遺跡調査報告書』寺井町教育委員会

1997a「第Ⅰ部第2章 能美古墳群の調査と保存 第1節 戦前から1974年まで」『加賀 能美古墳群』石川県寺井町・寺井町教育委員会

1997b「第Ⅱ部第4章 西山古墳群」『加賀 能美古墳群』石川県寺井町・寺井町教育委員会

1997c「第Ⅱ部第5章 寺井山・三道山支群」『加賀 能美古墳群』寺井町教育委員会

吉岡康暢・河村好光 編1997『加賀 能美古墳群』石川県寺井町・寺井町教育委員会

史 跡 能 美 古 墳 群

— 整備基本計画書 —

2017年3月24日刊行

発 行 能美市教育委員会
石川県能美市大成町ヌ118番地
TEL (0761) 58-6103 (能美市立歴史民俗資料館)

印 刷 株式会社 そうごう
